

OUG ライフサイエンス分科会
第400回記念 公開講演会

学術文献データベースの将来を展望する



講師: 宮入 暢子 氏
(学術コミュニケーションコンサルタント)

日時: 2023年4月20日 (木) 14:00-16:00

会場: Zoom Cloud on-line

参加費: OUG会員 無料, INFOSTA会員 2,200円, 非会員 5,500円

INFOSTA

ライフサイエンス分科会について

過去の活動内容

今回の企画：本日の講演について

ライフサイエンス分科会について

過去の活動内容

今回の企画：本日の講演について

日本オンライン情報検索ユーザー会 Online Users Group(OUG)

OUG ライフサイエンス分科会

<https://www.infosta.or.jp/research/oug-life/>



- 医薬分野から広くライフサイエンス全般を対象に検索演習、勉強会、見学会等を開催
- 開催日：毎月第3木曜午後、年間9回程度開催
- 開催場所：現在はWeb（リアルの場合は日本図書館協会会議室（茅場町））
- 本会はメンバー全員によるグループ（輪番）制で会の企画・運営を行っております。
- OUG入会手続きは入会申込（OUG/SIG）のページをご覧ください。
OUG会員の方で初めてライフサイエンス分科会に出席される場合は、予め事務局経由にて主査までご連絡ください。
- OUG非会員はビジターとして参加も可能です。（参加費：2000円）

ライフサイエンス分科会について

過去の活動内容

今回の企画：本日の講演について

ライフサイエンス分科会 活動① 2021-2022年度

年度	月	回	内容
2022	2月	400	EBSCO DynaMedの紹介
2022	1月	399	医中誌Web ゆるふわ検索（INFOPRO2022振り返り）、医中誌『医学用語シソーラス』改訂, INFOPRO2022発表外の検証資料)
2022	12月	398	検索演題 ：2022年度検索技術者検定2級問題を解く
2022	10月	397	Citelineの医薬品・医療機器等の情報サービス、データベースの紹介：Pharmaprojects、Trialtrove 他
2022	9月	396	国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）のNBDC事業について
2022	7月	395	第19回情報プロフェッショナルシンポジウムINFOPRO2022” 医中誌Webバージョンアップ ～「ゆるふわ検索」の検証～”
2022	6月	394	INFOPRO2022 ディスカッションと発表資料検討
2022	5月	393	INFOPRO2022 ディスカッション2
2022	4月	392	INFOPRO2022 ディスカッション
2021	2月	391	治験薬データベース(Cortellis Competitive Intelligence, Cortellis Drug Discovery Intelligence)について
2021	1月	390	医中誌Web 『医学用語シソーラス』の紹介
2021	12月	389	INFOPRO2021振り返り
2021	11月	388	学術論文のバージョンとプレプリント をめぐる動向（講演）
2021	9月	387	AIを活用した論文調査サービス「JDream SR」の紹介
2021	7月	386	第18回情報プロフェッショナルシンポジウムINFOPRO2021 ” The「医学文献データベース」その中身と違いを検証する（海外編）
2021	6月	385	INFOPRO2021 発表準備②
2021	5月	384	INFOPRO2021 発表準備①
2021	4月	383	INFOPRO2021 テーマ検討のディスカッション

ライフサイエンス分科会 活動② 2019-2020年度

年度	月	回	内容
2020	3月	382	コクラン・ライブラリー活用術
2020	1月	381	医中誌アップデート、SLAアップデート（オンラインSLA年会など）
2020	12月	380	Dialogサービス関連の最新情報
2020	11月	379	Pharma Intelligence Center Introductionの紹介、INFOPRO2020Plusの振り返り
2020	9月	378	JST 情報基盤事業部より情報への恒久的なリンクDOIとJapan Link Centerのご紹介
2020	7月	377	第17回情報プロフェッショナルシンポジウム INFOPRO2020Plus The「医学文献データベース」その中身と違いを検証する国内編）その2
2020	6月	376	INFOPRO2020Plus 内でのOUG企画“The「医学文献データベース」その中身と違いを検証する国内編）その2”の事前準備_2
2020	5月	375	INFOPRO2020Plus 内でのOUG企画“The「医学文献データベース」その中身と違いを検証する国内編）その2”の事前準備
2019	2月	374	テクノミック社：「DRUGDEX」をはじめとした「IBM Micromedex」のシステムの紹介
2019	1月	373	研究不正についての講演、医中誌Webアップデート、SLAより最近の話題
2019	12月	372	PubMed勉強会 ―MeSH2020年版と新PubMed―（公開講座）
2019	10月	371	PubMedについて （INFOPRO2019より「MEDLINEに収録されている国内医学雑誌の経年分析について」、リニューアルに関する話題
2019	9月	370	東京大学図書館 見学会
2019	7月	369	第16回情報プロフェッショナルシンポジウム INFOPRO2019 The「医学文献データベース」その中身と違いを検証する国内編
2019	6月	368	INFOPRO2019 内でのOUG企画“The「医学文献データベース」その中身と違いを検証する（国内編）”の事前準備
2019	4月	367	株式会社グローバルインフォメーション『メッドデバイストラッカー』、『Epiomic – 疾患・治療区分別患者人口データベース』の紹介

ライフサイエンス分科会 活動③ 2017-2018年度

年度	月	回	内容
2018	2月	366	検索演題 2018年度検索技術者検定 1級・2級試験問題から
2018	1月	365	電子ジャーナルの著作権について
2018	12月	364	オープンアクセスの動向 ～ゴールドOA、グリーンOAそれぞれの立場から～
2018	10月	363	特許分析評価ソリューション LexisNexis PatentSight®の紹介
2018	9月	362	JAPIC：ブルーブック連携データベース紹介、Globaldata社：Pharma Intelligence Center紹介
2018	7月	361	リニューアルしたJ-STAGE、JDreamⅢの新機能の紹介
2018	6月	360	クラリベイト・アナリティクス社「ライフサイエンス事例のご紹介」
2018	5月	359	東邦大学 医学メディアセンター本館及び「からだのとしよしつ」の見学
2018	4月	358	業務に役立つ学習：学会・研究会・セミナー・講習会の紹介
2017	2月	357	ユサコよりQinsight、Nvivo
2017	1月	356	化学情報協会よりCASRNライセンスプログラム、STNext、SciFinder-n
2017	11月	355	慈恵医大学術情報センター（図書館・標本館・資料館）見学
2017	10月	354	サイボウズ社見学会
2017	9月	353	Elsevier, LexisNexisよりSciVal、PatentStrategies
2017	7月	352	Clarivate Analyticsより学術論文、特許分析ツール
2017	6月	351	Citelineのサービス(PharmaProjectsほか)
2017	5月	350	JSTより17シソーラス改訂、海外誌拡充および機械翻訳・自動索引、ディスカッション：仕事における工夫・教育
2017	4月	349	ジー・サーチよりサービス紹介「JDreamIII」、検索演題（前回の続き）

ライフサイエンス分科会 活動④ 2015-2016年度

年度	月	回	内容
2016	2月	348	サンメディアより文献入手サービスARROWの紹介
2016	1月	347	ライフサイエンス辞書ユーザーミーティング報告会、DaiichiSankyoくすりミュージアム見学
2016	11月	346	UMLSと医中誌の関わり、人工知能が先進医療に貢献できるポイント
2016	10月	345	システムティックレビューサーチ に関する文献調査（索引を中心に）、索引についての調査と考察（Barter症候群とGitelman症候群）、話題提供：EmbaseのPICOサーチフォーム
2016	9月	344	iJapanより「Smart Phone, Mobile時代の リモートアクセス -RemoteXsの紹介-」
2016	7月	343	国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)「疾病克服に向けたゲノム医療実現化プロジェクト」-新たに開始したデータシェアリングに向けた試み-
2016	6月	342	30分でわかる メタ解析 とRevMan（レブマン）演習
2016	5月	341	病院図書室とエンベディッド・ライブラリアンー 地域包括ケア時代 の学術支援ー／メディア・ドクター
2016	4月	340	検索演題2015年検索技術者検定1級より・話題提供（添付文書情報））
2015	2月	339	「リンクリゾルバー SFX」「ドキュメントデリバリーサービス Reprints Desk」「文献管理/論文作成支援ソフトウェア EndNote」の紹介
2015	1月	338	JDreamⅢのエンハンス情報および新複写サービスのご紹介等 コラボリー/COLOBORY
2015	11月	337	J-STAGE活用のすすめ ～コンテンツ拡大の取り組みと機能のご紹介～
2015	10月	336	EMBASE、PubMed（MEDLINE）、医中誌Web等を用いた システムティックレビュー の検索方法についての検討とその報告
2015	9月	335	JAPIC医薬品情報総合検索システム PharmaCrossについて
2015	7月	334	STN 新プラットフォームと医薬系データベース
2015	6月	333	検索例題 医薬品について、各国での販売状況を調べる
2015	5月	332	コクラン・ライブラリー について:
2015	4月	331	学術雑誌の諸問題: 高額雑誌に対抗して日本の学術雑誌を世界に普及させる必要性和その方法（講演）

ライフサイエンス分科会 活動⑤ 2013-2014年度

年度	月	回	内容
2014	2月	330	ネイチャー・パブリッシング・グループ（NPG）事業説明、話題提供（印刷博物館、SLA、シソーラス改訂（医中誌Web,JDreamIII））
2014	1月	329	検索演題
2014	11月	328	医書ジェーピーの紹介「医学・医療の配信に特化した統一プラットフォーム構想」、今日の診療、Medical Finderの紹介
2014	10月	327	最近のPubMed/MeSH等の話題について、最近の話題・情報提供
2014	9月	326	著作権 について
2014	7月	325	STN アップデート
2014	6月	324	医中誌Web最新情報
2014	5月	323	開発医薬品情報データベース「AdisInsight」の紹介
2014	4月	322	慶應義塾大学信濃町メディアセンター(北里記念医学図書館)の見学
2013	3月	321	ProQuestDialog
2013	2月	320	Wikipediaについて
2013	1月	319	病名と対象疾患照合DB, webAPIについて, JAPIC図書館見学
2013	12月	318	検索演習／リンク集の見直し／情報交換（PubMed, その他, ライフサイエンス関連サイトのアップデート）
2013	11月	317	剽窃（盗用）の現状と問題解決 採用されたCrosscheckを中心としたiThenticateの紹介, リンク集の更新
2013	10月	316	SLA2013トピックス, Webサイトのリンク集改修
2013	9月	315	著作権 について
2013	7月	314	NBDC「ライフサイエンス新着論文レビュー」「ライフサイエンス領域融合レビュー」Allie,OReFiL,TogoDocSuite,inMeXes
2013	6月	313	STNライフサイエンス系データベースの強化
2013	5月	312	JDreamIII
2013	4月	311	印刷博物館見学

ライフサイエンス分科会 活動⑥ 2012年度

年度	月	回	内容
2012	3月	310	検索演題
2012	2月	309	AdisInsight
2012	1月	308	Medtrack バージョンアップ
2012	12月	307	医中誌Web Ver.5バージョンアップ
2012	11月	306	OvidSP: 検索プラットフォームの真価－搭載コンテンツを含む開発の方向性
2012	10月	305	SLA 2012 Annual Conference & INFO-EXPO
2012	9月	304	第300回記念講演「Publish or Perish 研究発表倫理を確立するために」 愛知淑徳大学人間情報学部教授 山崎 茂明先生
2012	7月	303	科学技術情報発信・流通総合システムの状況
2012	6月	302	STN 医薬系データベースの強化
2012	5月	301	学術情報の動向（講演）
2012	4月	300	検索演題

ライフサイエンス分科会について

過去の活動内容

今回の企画：本日の講演について

そして、本日、第400回記念

- ライフサイエンス分科会ではデータベースの利用者と提供者・作成者とが集まり相互に意見交換して価値観を共有する中で、自身のスキルやサービス向上に役立てること、ともに学びニーズを知ること、各々が将来を描き発展・成長することを目指して活動しています。
- 今、目の前の業務や利用中のデータベース・調査ツールを知ること大切ですが、これから先を予測し準備することも大切です。
- 学術文献データベースは、学術情報の公表スタイルの変化に伴い少しずつ、その中身や作成方法が変わってきました。
- 本日は、その変化の「今」を掴み、今後の学術情報・学術文献データベースとの付き合い方を考える機会になればと思います。